京城日報 朝刊
（日刊） 皇紀二千六百三年 昭和十八年五月三日 （月曜日）
明治卅九年八月十日第三種郵便物認可 （市內版） 第一万二千七百六十號

敵に寸土も許さず 五十七日の死鬪

寡兵、ドンベークを完全確保

印緬國境戰線の華 〇〇部隊奮戰記

……を傾注したマユ半島ドンベーク（ア……時み執拗な攻擊を試みたが、わが軍は……してアキャブ奪回の野望を完全に挫……ク確保の重大任務に當つた〇〇部隊……間に五十七日間、敵は大砲廿門、高射……野原と變り、山の大木も悉く吹き飛ん……規模な攻擊を企圖すること前後五回に……務貫徹の決意に燃えて火の玉となつて……てアキャブの最重要前衞據點を完全に……

……點においてマユ山脈よりベンガル灣に流れこむ幅約百米の無名クリークを占據した、敵第一線と隔たること僅か卅米である

この頃ドンベーク正面の敵は少數の山砲、裝甲車、戰車を有する英國歩兵部隊であつたがわが軍に叩かれるや印度兵と交代し、自らは後方に退つて專ら印度兵の督戰に當つた

斯くするうち敵は重砲、高射砲M三型中型戰車を逐次增强して一月初旬には英歩兵一個旅團と砲兵一聯隊、そののち印度兵が更に增强されて一個師團の大軍を集結、敵自動車はわが陣地より目擊し得る數だけでも一日平均七十輛に達し、敵のブレンハイム、ハリケーンなどをもつてする重爆擊は次第に猛烈となり、マユ山脈の山節から海岸まで僅か一キロ足らずの平地に陣地を布くわれに對し敵は正面の平地は勿論、われを見下す山腹高地に半圓形の陣地を布いて包圍の態勢をとつた

一日四千發の敵砲彈

……陣地へ砲擊の猛砲擊を加へ、その數一日平均三千乃至四千發といふ無茶苦茶な射擊ぶりである

このためわが陣地附近の平地は全く燒け焦し、醜い形相に變つて遮蔽物は一つもなくなつた、全くむき出しのわが陣地では斷壕を掘るとたちまち湧水が湧き出すといふ有樣で、しかも、脆い砂地の斷壕は敵彈にたちまち破壞される、連日連夜淺い壕を掘り直して砲彈彈雨の中を頭を一寸も出さずぢつと陣地を死守してゐる、ある日など一策を案じてドンベークの部落に僞陣地を作り敵の猛砲擊をこれに集中 わが陣地への火力集中を緩和する苦心などわが將兵の血にじむ一日一日は筆紙に盡し難いものがあつた

さらに敵側の上流をせき止めたためクリークは鹽水が上つて飲むことが出來ない、鹽の出る 炊爨などは忽ち敵機の銃擊と集中砲擊を浴びるので遙か後方に下つて……した竹を箸のやうに細かく切つて細細と飯盒の飯を炊くのであつた

粒々辛苦わが補給

當時敵はわが陣地の後方深く迂回し、包圍態勢をとつてゐたのでドンベークの南二キロより以北の補給は困難を極め、補給に當る兵隊はこの敵中を暗夜にまぎれて突破し、クリークの中に所狹いまでに浮いてゐる敵の腐爛死體をかきわけつゝ首まで身をひそめ、辛い飲料水を入れた石油罐を水面にさし上げて一寸、二寸と靜かに對岸のわが陣地に進む、水音一つたてればたちまち敵の砲彈に還され、咫尺を辨ぜぬ暗闇でも一時に何百發と飛來して炸裂するのである

かくして後方より粒々辛苦の補給をうける第一線將兵はその都度この辛苦に 手を合せて 感謝し一日に飯盒一個の飯、水筒は二人で分けて 漸く 渇を癒した、かうして彼我三十米の近距離に對峙すること幾日、その間にも 增强し來る敵の 砲擊は逐次 熾烈の度を加へ、火彈、榴彈、曳光彈などをひつきりなしに射込んで、わが陣地をさらに燒打ちにしようとかゝりさらに海岸には敵砲艦が現れ、側面から猛擊して來るので海岸方面への警戒も嚴重にせねばならなかつた

肉彈！銃眼を塞ぐ

殊に一月六、七、八日の第一次攻擊および一月十七日、十八日の第二次攻擊の如きは熾烈を極めた敵はまづ有力な飛行部隊をもつてわが陣地を猛烈に爆擊、これに呼應して全火力をもつてわが第一線第二線を一時間も二時間も砲擊して部厚い彈幕をつくり、さらに重火器の一齊猛射と共に戰車裝甲車を先頭にして敵歩兵をあげて突擊し來り手榴彈を投げては突込んで來た、敵の砲擊中ぢつと齒を喰ひしばつて壕の中にひつこんでゐたわが將兵は砲擊が止むと間髮を入れず壕から飛び出し前面に迫り來る敵の機先を制して卅米の投擲距離をもつて群がる敵中に手榴彈を叩きこみ大打擊を與へ、その都度擊退した

この第二次戰鬪で堀江〇〇隊は猛然敵の戰車群に突擊を敢行、これに飛びのつて手榴彈を投げつけたちまち二台を擱坐せしめ勇敢な一兵士は他の一戰車に飛び乘りざま、火を吐く敵機銃を見て『えい面倒だ』と身をもつて銃眼をふさぎ戰車內の英國兵は總をふさがれて射擊を止めてしまふといふ、肉彈攻擊を敢行、また他の一機關銃手は自分の機關銃が敵の戰車の下敷きとなつて 破壞されるや この敵戰車に飛び乘つて敵兵を仆し、その戰車を ぶん取つて 自ら操縱して敵を攻擊中、敵砲兵の集中射擊をうけて人事不省に陷つたが、戰車內の火焰に息を吹き返し再び味方陣地にもどつて奮戰をつゞけるなど砲煙彈雨の中にわが將兵の勇猛ぶりが隨所に發揮された、それ以來敵戰車は恐れをなしてわが軍の機銃掃射にあつただけでくるりと反轉して逃げるやうになつた

遂に敵第四次大攻擊

しかし敵はわれを寡兵と侮り性懲りもなく二月一日の第四次攻擊つゞいて三月一日の第五次攻擊と全火力の掩護の下に大規模な攻擊を加へて來たのである

これよりさき〇〇部隊本部は一月廿八日の夜前進し、それ以後友軍はあらゆる困難を冒して逐次增强して鐵桶の陣容を整へるに至りこれが敵の第三次攻擊前に完了してゐたのでその全力をあげて猛烈な攻擊を加へ、鹵獲した二ポンド速射砲も利用して敵戰車多數を擱坐せしめ、その都度皇軍獨得の白兵戰が展開され敵に大損害を與へて擊退した

前後五回にわたる敵の攻擊中で最も大規模、かつ熾烈を極めたのは第四次攻擊であつた、二月一日の早朝のことである、突如地中から湧き出た如くグワーッと……喊聲がやつて來た、それは 何百挺とも知れぬ敵の重火器の一齊射擊であつた、敵兵はこの掩護射擊のもとに喊聲をあげてわが陣地に殺到、激烈な白兵戰となつたが、わが方は寡兵のため敵の間隙を縫ひ彼我入り亂れて混戰亂鬪を展開した

敵は眼かくし突擊

、敵は豐富な火力と裝備を綜合的に驅使する火力戰鬪にはよく訓練されてゐるが、いよ〳〵白兵戰となりわが勇士が猛然と斬壕から躍り出していざ銃劍の刺合ひになると英國兵印度兵の別なく全く無抵抗である、甚だしきに至つては目隱し、あるひは目をかたくつむつたまゝ突進してくるのだ、小野田〇隊の陣は生殘つた兵が僅かに三名で固めてゐたところに敵兵五十名が目をつむつたまゝ突つ込んで來た、しかしその敵兵が目を開けてみると陣地には日本兵三名しかゐなかつたが、五十名の敵は皆銃を捨てゝ手をあげてしまつた

かくて五回にわたる大規模な攻擊が悉く失敗に歸し、敵はその都度夥しい死體をわが陣地の前面に遺棄して退却し、あたり一帶は文字通り屍山血河の悲壯な情景を呈した、かくて五十七日間〇〇部隊は一旦占領した陣地は寸土たりとも讓らじと不撓不屈の皇軍魂を發揮して優勢なる敵を支へ、よくその重大任務を果したのである、なほ〇〇部隊は殊勳によりこのほど感狀を授與された部隊である

加重する日軍攻勢

米空軍へ重慶不滿募る

……めるものである、その結果は……米が希望する日本本土空襲の基地は次ぎ〳〵に潰滅されるであらう

……首腦者たるスチルウエルやシエンノートがこのほどワシントンに出向いた留守を巧に襲はれたことで……米側はたび重なる不信任回復の爲にも日本空襲一周年前後になにごとか行はざるを得ぬ破目に立つ……

米、罷業へ强權發動

鑛山地帶不穩の氣漲る

【ブエノスアイレス一日同盟】米國鑛山勞働組合所屬の勞働者が卅日夜半を期し一齊に總罷業を決行……ルーズベルト大統領が一日內務長官イツキーズに對し接收命令を……た結果イツキーズは全米各地における石炭の生產、販賣、配給に關する一切の統制權限を獲得し……この非常權限行使のために必要と認め得ることになつてゐる……あれば軍當局に對し軍隊の出……傳へられてゐないが、政府の强權發動に心から憤激する罷業勞働者は各地で不穩の氣配を見せてをりすでに 數ケ所の鑛山地區には 軍隊が駐屯して警戒に當つてゐる模樣だ、さらに今回の接收命令は現在罷業中の鑛山のみに限らず罷業の氣配濃厚な鑛山に對しても適用されることになつてゐる

一方罷業による各地鑛山の操業停止の結果、米國軍需產業特に製鋼業がうける打擊は極めて甚大で米國政府筋では貯藏石炭により今後二週間から二ケ月位は軍需產業の操業は可能であると樂觀的の見解を表明してゐるが米國最大のユー・エス・スチール系各工場をはじめピツツバーグの製鋼工場は今後補給が續かない限り手持の石炭では僅かに四日を出でずして操業不可能の狀態に陷るといはれてゐる

敵機三機を擊墜

小癪にもビルマに來襲

【ビルマ〇〇基地二日同盟】ビルマ空襲を企圖する敵空軍はその都度わが戰鬪隊により擊碎せられてゐるが、四月廿七日および五月一日の兩日メークテーラおよびラングーンにおいてわが戰鬪隊は敵爆擊機二機を擊墜、一機に大損害を與へた

卽ち 四月廿七日 メークテーラ附近に來襲した敵ノースアメリカン・ビー廿五型九機を邀擊したわが戰鬪隊はその一機を確實に擊墜したほか一機に大損害を與へ、また五月一日午後敵コンソリデーテッド・ビー廿四型八機はラングーンに來襲したが、わが戰鬪隊は直ちにこれを邀擊、渡邊軍曹機はバセイン西北方約十五キロ附近で體當りをもつてその一機を擊墜、同軍曹機も同地附近に不時着したが無事であつた

三國防共戰線決す

ラバール佛首相歸國談

ラバール首相

【パリ一日同盟】佛首相ラバール氏は總統大本營におけるヒトラー總統との會談を了へてパリに歸還したが、一日新聞記者團に對し左の如く言明した

今回の獨伊佛會談によりフランスと獨伊兩國との關係は新なる段階に入り、これによつてフランス將來の地位並びに樞軸國との關係が決定されることとならう、フランスは未だ防共協定には參加するに至つてゐないが、ボルシエビズムの歐洲に對する脅威は十分に認識しての脅威除去のためにわれ〳〵は共同戰線を張らなければならぬ

なほラバール首相はペタン首席に對して三國會談の結果を報告するため一日正午ビシーに向つた

佛首相負傷は事實無根

【ビシー一日同盟】米側ではヒトラー總統との會談を終へパリへ歸還したラバール佛首相が卅日兇漢に襲はれ同行のピエール・カタ－ラ藏相とともに負傷したとのデマ宣傳を行ひフランス國民の人心攪亂に努めてゐる模樣だが、卅日フランス政府は右報道は全く事實無根である旨否定した、同政府の發表によれば卅日夜ラバール首相はパリで記者團と會見したが頗る元氣であり、またカタ－ラ藏相は卅日はビシーに滯在中であつた

赤軍戰力低下著し

樞軸同盟軍活躍す

東部戰線

【ストツクホルム一日同盟】廿八日午後クバン河口地區に對して開始された赤軍の總攻は同日から廿九日までの二日間に少くとも歩兵六ケ師團、戰車三個旅團を喪失して戰力は著しく低下したが依然猛烈な攻擊を續行してゐる模樣で獨軍ならびに樞軸同盟軍はコーカサス山脈の西北端をクバン河との中間地區において熾烈な防衞戰を展開中と傳へられる

特に樞軸同盟軍の活躍は顯著なるものがあり廿九日夜ルーマニヤ山岳部隊は奇襲攻擊を行つて極く僅少な兵力をもつて赤軍歩兵一個大隊を擊碎するとともにスロバキヤ空軍は獨空軍協力のもとに右戰鬪地區上空の空中戰においてソ聯機廿五機を擊墜したと傳へられる、赤軍は卅日一重要陣地を奪取するため十一回にわたり執拗な攻擊を繰返したが獨軍はその都度これを擊退するとともに獨、ルーマニヤ同盟軍は赤軍前衞陣地を逆襲し赤軍戰車廿九台を破壞したと傳へられる、東部戰線全域において卅日樞軸空軍が擊墜したソ聯飛行機は四十一機に達してゐるといはれる

米機八臺擊墜

佛西海岸盲爆

【ベルリン二日同盟】獨軍當局の言明によれば米空軍部隊は一日午後フランス西海岸の港灣を爆擊したが、ドイツ戰鬪機隊はたゞちにこれを邀擊、高射砲隊の戰果とも併せて八台を擊墜したといはれる

英陣地奪取成功

獨軍、攻勢を持續

北阿戰線

【リスボン一日同盟】チユニジヤ戰線中部のメジエズ・エル・バブからグーベラートに至る間のメジエルダ溪谷の激戰は依然續けられてゐるがフオン・アーニム將軍麾下の獨軍は多數の戰車、歩兵を繰出して攻勢を持續、英第一軍の頑强な抵抗を排してグーベラート附近の陣地數ケ所を奪取、グリツシユ・エル・ウードでは英軍は死體八百を遺棄して敗走した、反樞軸軍司令部も卅日の戰況公報で同方面における英軍の退却を認めるとともにアーニム軍の反擊は猛烈を極め陣地を撤收するやうな模樣は全然ない旨を述べてゐる

マルチニツク佛艦隊に垂涎

ノツクス斷交の本心を告白

【リスボン卅日同盟】ワシントン來電＝米國政府は佛領マルチニツク島高等辨務官ロベール提督が依然フランス政府に忠誠を誓つてゐるのに業を煮やし廿六日遂に同島と斷交するに至つたが、海軍長官ノツクスは記者團と會見席上左の通り言明した

斷交後米國政府がマルチニツク島及び同島水域に碇泊中のフランス艦船に對し如何なる措置に出るか、言明するわけには行かない、米國海軍は目下同島附近を哨戒中であり、また同島に駐在する關係者はなにか事件が起り次第余に宛て報告をすることになつてゐる、また現在同島にはフランス國籍の油槽船六隻商船二隻のほか航空母艦ベアルン（二二、〇〇〇トン）巡洋艦ジヤン・ダルク（六、四九六トン）エミール・ベルタン（五、八八六トン）が碇泊してゐるがすでにフランス艦隊の一部はカサブランカに送られ、目下米海軍の指揮下に入つてゐる、さらにマルチニツク島に對する斷交通知に關しては未だなんらの返答にも接してゐない

京日論壇

京城の人口對策

長鄕衞二

都市の繁榮は人口の增加にありと考へて、只管これが增加に專念したのは過去の事である。現在では都市機能を最高度に發揮し得て市民の保安衞生にも支障のない人口の限度を設定することが、都市の繁榮計畫の第一義とされる。

此意味で、京城府の人口を何程とすべきや、換言すれば、京城を過大都市の弊に陷せしめず、府民保健衞生の立場より、都市活動の圓滑なる運營の立場より、又昨今特に其重要性を增した都市防衞上の立場等より考察して、京城の人口は何程が最も妥當なりやの問題は、府民最大の關心事であらう。

昭和十一年、筆者が京城の都市計畫を立案した當時決定した京城の將來人口の目標は百二十萬人であつた。若し百五十萬人を超過するに至らしめるならば、京城都市計畫の失敗なりと說明、當時の府會の記錄にとどめた事を記憶するは勿論、都市人口集中の大勢よりしてこの程度にとどめる事の困難は豫想された事ではあつたが、これに對しては、京城と綠地を以て隔てられた最小五粁以上の近郊に人口十萬以內の衞星都市數個を順次に建設し、これと京城とを高速度交通機關で結ぶ事により、京城のみに集中せんとする人口を、これら衞星都市に分散收容せしめて過大都市出現防止の對策たらしめようと考へたものである。

然るに其後六、七年にして、當時六十七萬餘人の人口は、今日既に百二十萬人に達せんとし、衞星都市の建設實現は斷念せざるを得ない現狀を觀ては、京城府の將來の爲め誠に寒心に堪へざるものがある。

◇

都市に於ける人口密度は一人當り一〇〇平方米（約三十坪）を理想とする。此觀點よりして京城府の現府域約一億三千平方米內に於ては人口は約百二十萬乃至百三十萬が理想である、これとても現狀にあつては、舊京城府域內は一人當最高七・一平方米、平均五十九平方米の過密狀態であつて、防空上は勿論、保健衞生上憂慮すべき情勢にあり、中樞鋪路區の如きは何等かの方法により分散疏開を必要とするものである。

現狀の儘で人口の京城への集中を放任して置くならば、今より十五年後の昭和三十二年には、京城府內人口百八十五萬人、近郊を合して二百三十萬人といふ、私共の立場よりいへば京城の飽和人口に達すると推定される。

都市各般の施設が人口增加に併行して整備され得るならば、百廿萬の目標を突破しても、そこには自然に對策も講じられようが、各般の施設、最小限度以下にしか許されない現在に於いては、否都市施設の整備を犧牲にしても、戰爭完勝に突進しなければならぬ現時局下では、積極的に人口集中抑制の强行方策を講じなくては、各々都市の機能を阻害し、都市活動の一部停止を 招來するの 混亂に陷るであらう。

その最も良き實例は京城に於ける電車バス交通機關の現狀である

◇

府內に於ける電車バスの乘客數は昭和十一年（人口七十六萬人）七千七百三十七萬人、一日平均二十一萬人で あつたものが、 昭和十六年（人口百十二萬餘人）には一億七千四百五十六萬人、一日平均四十八萬人となり、人口四四パーセントの增加に對し、乘客數は實に一二六パーセントの激增を來した。

然るに過去に於ける電車施設を見るに 昭和十一年末路線延長三六・二粁車輛數一五九台のものが昭和十六年末には僅かに延長三八・四粁車輛數二二二台に過ぎず、其施設の增加擴充が乘客數の增加に伴はざる事明白であつて、これが現在の交通地獄を招來したものである。若し京城の人口增加を自然のまゝに放任して、昭和廿二年に百八十五萬人に達したと假定すれば、其時の交通人口は實に一ケ年五億一千萬人、一日平均百四十萬人と推定される。此時には高速度交通機關、環狀交通路の設定等あらゆる技術的方策を講ずるも、京城の地勢的制約より見て、確信ある對策は樹立し得ずと斷言して憚らない。いはんや施設のこれに伴はざるに於てをやである。

以上は交通だけの事であるが、道路、下水、水道、學校、市場、公園、綠地等の施設も同樣であつて、之等あらゆる都市施設が伴はないで人口のみの增加が自然のまゝに放任された場合、都市機能の混亂は蓋し恐ふだに戰慄すべきものがある。

◇

此故に、筆者は次の如く力說したい。

一、京城への人口集中の現象を、自然のまゝに放任して、それによる人口增加を容認せんとするならば、如何なる 財的物的犧牲を忍んでも、都市施設の完備を計り、猶百二十萬を超過する人口は、衞星都市を建設して、これに分散收容するの方策を講ずべき事

二、若し都市施設の完備、衞星都市の建設をなし得ざる事明白なれば、積極的に京城への人口集中を抑制すべき强力なる方策を講ずべき事

而して、現在の情勢に於ては、第一項の實施不可能と見るが故に、第二項の集中による人口增加抑制の方策を斷行すべき事を進言するものである。

其爲には先づ第一に、入府居住の許可制を採用して、これによつて、都市の活動運營に必要ならざる人々の入府居住を禁止すべきである。地方の地主の府內居住の如き、或は無職の有閑有產階級の如きも地方に復歸せしむべきである

次に企業整備によつて生じたる餘剩人口は、極力これを時局下必要とする方面へ轉業轉住せしむべきであらう。

又專門程度以上の學校や京城に適せない工場の如きは今後府內建設を許さず、既にあるものもそれに附隨せる人口と共に、地方の適地に分散移轉せしむる方針を採るべきである。

◇

以上はいふべくして容易に行ひ得ないことであり、又情に於て忍びざるものも多々あるであらうが國土計畫的立場よりすれば人口配分の問題でもあり又時局下都市施設の整備の許されざる現狀に於ては、都市を混亂より防ぐ唯一の方策でもあるので、何としても强行せられねばならぬ重要事である。

かくして、都市への人口集中を抑制し、又都市に於ける餘剩人口を重要方面に轉用し、都市の混亂化を防止して他日整備し得るの日まで待機する事が時局下大都市の識ふべき唯一の道ではあるまいか

【筆者は朝鮮住宅營團建設部長】

〔社説〕自滅の沼に彷徨の重慶

一

去る四月廿日から展開された山西、河南省境太行山系南部地區における雄渾なる大包圍殲滅戰は、重慶第廿七軍最後の牙城第火線の攻略を以て一段落を告げんとしてゐる。この作戰の廿八日までに判明した綜合戰果について敵遺棄死體約五千、俘虜新編第五軍長孫殿英以下約七千六百、主なる鹵獲品各種火砲十九門、重輕機關銃約二百挺、小銃約四千挺と大本營から發表されたが、敵重慶に與へた打撃は實に深刻なるものといはねばならない。いふまでもなく、二月廿一日に敢行された廣州灣佛國租借地への進駐、これと前後して展開された湖北省洞庭湖北方及び江蘇省北部に蘇淮地區における兩大包圍殲滅作戰が、赫々たる大戰果を獲得して三月中旬概ね完了したのに引續いて敢行されたのが、今次太行山系南部地區における大殲滅戰である。これが既敗重慶政權に深刻なる痛撃を與へない筈はない。

二

即ち、廣州灣佛國租借地進駐によつて重慶軍の策動と取殘された密輸血路を封殺し、洞庭湖北方地區においては重慶江北挺身軍及び第百十八師並に王纘緖軍を捕捉殲滅せしめた。また蘇淮地區においては重慶第八十九軍及び共産新四軍の根據地を覆滅して殘敵の掃蕩を完了、爾後これらの地區には皇軍常駐し治安は益〻速に回復しつゝある。而して以上兩地區の綜合戰果は敵に與へた損害遺屍約一萬一千、捕虜約二萬五千、火砲二百門をはじめ鹵獲品多數といふ赫々たるものであつた。更にこれに引續いて行はれた太行山系南部地區作戰の戰果は、前掲大本營發表の通りであつて、俘虜中には軍長孫殿英以下有力幹部約五十名を含んでゐる輝かしいものである。尚以上の作戰に併行して山西、察哈爾、河北省境冀西地區においても、共産軍約一萬五千に對する包圍殲滅戰が行はれてゐる。

三

これを要するに、裝備完整せる上に百戰錬磨の偉勲に輝く皇軍將兵の勇戰奮鬪の前には、裝備貧弱にして昔日の影なく士氣沮喪せる敗殘寄せ集めの重慶軍の如き鎧袖一觸の感深に顯著なりといふの外ない。加ふるに、南京政府の對米英宣戰以來、中國側軍隊並に武裝團體の日華提携大東亞戰爭完遂に邁進せんとする國府精神の具現顯著なるも[illegible]

……に等しい。最近の重大事件として喧傳されるソ聯對ポーランドの紛爭においても、結局米英がポーランドを犧牲に葬り去るのが落ちであり、これが米英外交の常套手段であることを蔣介石とその一黨は知るべきである。加之『米英必ず我に降る』と、谷萩大本營陸軍報道部長は名古屋市における講演中に力強い警告を與へてゐるではないか。

陸運と生産增强へ
動員計畫と朝鮮の擔ふ新使命

【東京電話】我が國戰時經濟の中軸をなす十八年度の物資、交通の兩動員計畫は既報の通りだがこれが折衝のため東上中の本府總務局鈴木書記官は次の如く語つた

同動員計畫は共に内外地を一貫した計畫であり大東亞戰爭の必勝を目指して作成されてゐる、物資動員はあくまで戰力增强に必要な鐵、石炭、船舶、輕金屬航空機などの增産確保を目的として一般民需に相當の壓縮が加へられたことは言ふまでもない交通動員の特色は海運の陸運轉換にあるといふべく、この點大陸と内地の中繼にあたる

朝鮮の陸運 は新たな任務が課せられたわけである、而して動員計畫と表裏一體の關係にある生産力擴充計畫のほか勞務動員、電力動員、資金動員の諸計畫も引續いて近日中の閣議で決定される豫定でありこゝに戰時經濟は完璧を期せられることゝなるが生産力擴充部面における朝鮮の鐵、アルミその他の輕金屬工業は更に一段の增産を豫定されるであらう、また

棉花の增産 も更に奬勵されるわけであり勞務その他國民動員の計畫に對する半島同胞への期待も一層深まつて來たことは言ふまでもないが、これら計畫の圓滿なる遂行のためには一億國民の全幅的協力を要望してやまない

輸送能率良好
陸運の飛躍期待

【東京電話】決戰下輸送の完遂を目指し新十八年度から國鐵を中心に地方鐵道軌道小運送業、トラック業者などの全陸運關係業者が一體となつて全國に展開した『一割餘分に働く運動』の先驅として四月中實施せられた『輸送能率向上』は全國百萬の從事員が各自の職場を死守して新しい工夫と創意とにより連日連夜敢鬪の結果豫期以上の成果を收め、掉尾の卅日は輸送トン數において國鐵創始以來の最高記録をあげ、國策輸送に輝かしき第一ページを飾つた

すなはち鐵道省發表によると四月における輸送成績は發送トン數目標に對し上旬九十一パーセント、中旬が九十八パーセント、下旬が百二パーセント、四月中では九十七パーセント、前年の實績に對比すると上旬が二分、中旬が一割、下旬が一割四分、四月中としては九分といづれも增加となり、目標を高く設定された發送前の最高記録の五分增といふ最高を樹立した

前年よりは約一割近い增送となつてゐるが、最近における海運よりの轉移貨物增加に伴ふ輸送距離の遠近を併せ考へると輸送全體量は一割を遙かに突破するものと見られ、上旬における成績不良は天候と日曜祭日の連休などにより作業率の低下が原因で中下旬においては靖國神社大祭その他祭日を控へたにも拘らず數度にわたつて發送トン數の記録を出し、遂に卅日には運動實施前の最高記録の五分增といふ最高を樹立した

かゝる輝かしい成果の裏には從事員の涙ぐましい數々の努力が秘められ、中には非番にも拘らず夜の雨に飛び起き驛に馳せつけて貨物の整理をなし物資を護るとともに輸送の圓滑をはかつたことなどその撓まざる熱意と努力の結晶である

米英のゴム飢饉
生産量が減退の一路

【東京電話】大東亞戰爭勃發するやたちまちにして南方における植民地を喪失した米英はこれと同時に世界ゴム生産額の九十パーセントを日本のために奪はれた彼等は從來から對日戰爭開始の場合といへどもかゝる事態を想像してゐなかつたゝめ深刻なゴム飢饉に惱みこれが對策に狂奔せざるを得なくなつた、まづ米國は南米アマゾン流域のゴムの確保を期してブラジルに十數名の專門家を派遣しまた米、ブラジル經濟協力の實を擧げるための第一手段として昨年七月ブラジル政府をしてゴム銀行設立の法令を發布せしめた、このゴム銀行は

一、資本金五千萬ミルレース(うち四十パーセントは米國持分)
一、存續期間、二十年
一、總裁は生來のブラジル國人の中から大統領が任命するが、五名の幹部中二名を米國人とす

このほか全面的生産、輸送、統制、ゴム關係食糧、機具の配給なども行ふことになつてゐる

かくして米政府にをどらされるブラジル國政府は本格的にゴム生産に乘出したのであるが、しからば敵のゴム生産の一般状況は如何なるものであらうか

敵國ゴム事情

一、米英のゴム貯藏量=米當局の發表によれば開戰當時米國の貯藏量は海上輸送中のものを含めて六〇—七〇萬噸である、國際ゴム統制委員會の發表によれば米國が一九三九年十二月より四一年十一月までの二ケ年間に極東より輸入したゴムは百八十八萬噸であつた、これに三九年末の貯藏量十三萬八千噸を加へ四〇、四一兩年の消費量計百卅萬噸を控除すれば大體六〇—七〇萬噸といふ數字が出て來る、一方英國の貯藏量は甚だ乏しくなくエコノミスト誌の統計をみても開戰當初約五萬噸程度である

米英は

1、セイロン島、アマゾン流域などの天然ゴム增産
2、米國内人造ゴム生産の擴張
3、屑ゴムの回收再生

などの三方針を立て在庫品消費年間を人造ゴムに依存することとなつた しかし全く天然ゴムがなくなつたわけではない、米當局は昨年中に中南米より六萬噸の天然ゴム入手を計畫してゐたが事實はその半分ではある、三萬噸は入手したとみられる、その他 アフリカには リベリヤの年産一萬二千噸を筆頭に二、三のゴム栽培地が見られるが、輸送は相當困難である、一方セイロン島は年産九萬噸から十[illegible]

一萬噸への增産に成功したと稱してゐるが、米英に到着した實量には確實な情報がない、印度にも一萬二千噸の産額があるがこれは國内消費となつたはずである

以上を概算すれば米英の昨年度中の天然ゴム入手高は多く見積つても許十七萬噸を出でないと推定される

二、再生ゴム事情=米國の回收可能な屑ゴムは推定二百萬噸であるが昨年春の見積りによれば昨年中に五十萬噸回收すれば好成績といはれた、從來回收量は例年十三萬噸乃至十九萬噸であり米國再生工場の全能力は廿七萬噸で增設により昨年末約卅五萬噸の能力にまで達したといはれるから回收もその程度に止つたものと推定される、その品質は再生ゴム百キロが天然ゴム六十キロに當るといはれるから廿七萬噸の再生ゴムは十六萬二千噸の天然ゴムに該當するわけである、一方英國内に再生工場は殆どなく 昨年一萬五千噸、本年一萬噸と見積られてゐる

以上を綜合すれば米國は貯藏天然ゴム、再生ゴム、人造ゴムを合せてもせいぜい百廿萬噸で戰前一九四〇年、四一年の平均消費量百卅萬噸にも足りず英國のゴムもまた相當深刻なりといはねばならない國の兵器廠たる米國のゴム飢饉は[illegible]綴りにならざる少量であれば聯合

米國は海兵不足
そのため市民から將校を採用

【ブエノスアイレス一日同盟】アメリカ海軍は相次ぐ敗戰により夥しい艦艇を喪失、一方兵員の喪失も著しく、なかんづく將校の深刻なる不足に惱んでゐるが、三十日のニューヨークタイムス紙所報によれば海軍當局は此將校不足を補ふ爲海軍兵學の期間を短縮したばかりでなく、一般市民の中から海軍の基礎知識を有するものを僅か十五週間の訓練で海軍將校に採用してゐるといはれる、海軍長官ノックスも將校不足を告白し『近き將來アメリカ海軍將校のうち正規の訓練を受けるものは約一割程度にすぎぬこととならう』と言明した

熱意昂し前線の貯蓄戰
さあ今年も二百七十億目標攻略に我等も銃後にまけてはならぬと前線の兵隊さんも前進を開始毎月の給料から我もと貯金……南方〇〇の野戰郵便所員も、うれしい熱汗=野戰郵便所貯金係に押寄せた兵隊さん=

畏し、訪日宣詔記念日に
日滿顯官に賜謁

【新京二日同盟】大東亞戰下再び迎へた訪日宣詔記念日に畏くも皇帝陛下には去る康德二年のこの日回鑾訓民詔書を渙發あらせられて日滿一德一心の大精神を中外に御闡明遊ばされたのであるがこの日皇帝陛下には午前十一時三十分宮内勤民殿において梅津關東軍司令官兼全權大使と御會見、日滿盤石の締盟を深く嘉せられたが張國務總理以下各參議、武部總務長官各部大臣など滿洲國側文武官ならびに勅任官、同待遇以上の日本側文武官なども帝宮に參集、勤民殿において謁見を賜はり正午から嘉樂殿において梅津關東軍司令官兼全權大使、張國務總理以下日滿文武顯官等に賜宴あらせられた

週間世界の動き
米英ソの協力薄弱
惱み深し船舶と罷業

ソ、波國交斷絶

ソ聯外務人民委員モロトフは廿六日モスコー駐劄のポーランド大使ロメールを招致して『ソ聯政府は亡命ポーランド政權との外交關係を斷絶する』旨の通告を行つた この起りはドイツ當局がスモーレンスク附近のカキンの森でポーランド將校一萬名の虐殺死體を發見、これを世界に暴露したことに發してゐる

亡命ポーランド政權はドイツの發表に痛く

狼狽 して、ソ聯政府に照會狀を發する一方、スキスの萬國赤十字社に搜査方を依賴したところが、それがひどくソ聯を憤激させたのである、ソ聯の言分によると亡命ポーランド政權の態度は親獨的であり同盟國としての正常の手續を無視してゐるといふ、ソ聯の言分が正しいのか亡命ポーランドのやり方が正しいかなこゝでは問題でない、問題の性質は亡命ポーランドとソ聯との

深刻 な對立以外に不一致にある この事件によつてそれが表面化した迄で言はゞ來るべきものが來たに過ぎない、ソ波兩國はそれより先例の國境問題で紛糾を惹起し米英までも捲き込んでごたごたしてゐたが、未解決のまゝ今日に及んでをり斷交に至つた眞の原因は寧ろそつちの方にあつた それは戰爭目的の食ひ違ひである抗戰理由の不一致である、ドイツの手による虐殺死體の發見といふ偶然事件がそれを急に表面化し國交關係を

斷絶 にまで導いたに過ぎない、それに就て考へられることは反樞軸國間の同盟關係とか、協力關係とかいふものが如何に薄弱なものであるかといふことである ソ波關係のみならず米ソ關係英ソ關係、米英關係等々反樞軸國間にはある意味ではソ波の對立關係以上に深刻な對立がひそんでゐる、これらもまたいつ如何なる契機で表面化しないとも限らないのである

米國の罷業再燃

アメリカでは一時閉塞してゐた罷業問題が最近の物價高傾向に刺戟されて又復再燃し始めた、罷業件數は昨年末頃からぐんぐん增加して

軍需 生産に著しい支障を與へつゝある、最近問題になつてゐる最も重大な罷業問題は例のジョン・ルイスの率ゐる炭礦勞働者の罷業問題であるが、その概要は次の通りである

一、ジョン・ルイスはルーズベルトに對して賃銀値上げの要求を理由に五月一日から石炭礦山勞働者は罷業すべしと言ふ最後通牒を發した

一、その罷業に參加する勞働者數は六十萬名と豫想され政府は頗る狼狽して八方鎭壓に努めてゐるが、既に今日までに業務を中止した重要礦山は五十に達し凡そ三萬五千の勞働者が業務を放棄してゐる

一、資本家側では勞働者側の要求を受諾すれば全米の石炭價格は一ケ年十億弗の騰貴となるだらうとなし、これを理由に賃銀値上を拒絶しようとしてゐるが、政府側では問題は單なる

炭礦 勞働者對資本家の問題に止まらず、若しこの要求を認めれば悪いては既に要求提出中の凡そ百五十萬の鐵道從業員の希望をも受諾しなければならず、結局インフレーションを認め、從來のルーズベルトの經濟政策を顚覆せしめるものであるとして重大視してゐる

米英が惱む船舶

北阿の戰況にはその後重大な變化なく、依然として樞軸軍の頑强な抵抗が續いてゐる、然し事態は樂觀を許さないことも依然同樣である、各種の報道を綜合するに目下反樞軸側の一切の努力は北阿戰線に注がれ、兵員戰車航空機とも增强に次ぐに增强を以つてし、最近では全般的な兵力において樞軸側の兵力を遙かに引き離してゐる模樣である

なぜ米英がかくの如く北阿戰に力を注いでゐるか——一般では專ら其理由として『第二戰線設置への基礎固め』を擧げてゐる、確にそれは第一の理由であるに違ひない然しそれと同時に見逃し難い理由の一つに『船舶問題の打開策』がある、なぜ

船舶 問題が北阿戰と關連があるか——これは次の理由に基いてゐる

チュニジヤを若し獲得出來れば地中海航路の安全を確保出來る地中海航路の閉鎖によつて從來米英主として英國の船舶が受けてゐた打撃は全體の卅三パーセントは能率低下であつて、既に必要船舶の限度を割り擊沈量が建造量を凌駕してゐる『米國のトールマン議員は昨年中における反樞軸側の擊沈船舶は一千二百萬噸に達したと暴露し』ノックス海相はこれを一應否定しながらも『反樞軸軍の商船建造數は擊沈數に凡そ百萬噸も及ばなかつた』と告白してゐる、反樞軸側として國家の最大急務は船舶の增加である

若しチュニジヤの獲得によつて卅三パーセントの船腹が浮くとすれば、これに越した船舶對策はない その上地中海航路が再開出來れば

危機 に瀕した東亞及び西亞への補給も大いに樂になる、これが北阿戰線に主力を注ぎその勝利を焦つてゐる第二の理由と見て差し支へない、而してこのことは逆に米英が如何に船腹に惱んでゐるかを證明するものである

日本的學問の確立
決戰下學徒の心構へ
岡部文相談

【名古屋電話】岡部文相は大廟國務奉告參拜のため、一日宇治山田に向つたが、決戰下學徒の心構へなどにつき次の如く語つた

敎學の刷新といふ根本問題は私の祐りと根氣でじつくり考へてやつてゆきたいと思つてゐるが敎育といふ仕事は他の行政と異つてまづ敎育する人の養成とその錬磨を行ひそののちはじめて全般的な敎育といふものが動きだすものだから徒らに功を焦るべきものではない、大學院問題にしても學問はあくまでも振興すべきものであることを思へば自ら分明のことだらう

決戰下の學徒 の心構へとはいままでのやうな外國の水準に近づき眞似事のみに汲々した態度を一擲して凡てあらゆる努力と創意を致して敵國を完全に殲滅することを考へねばならない、さうならねば大東亞の盟主として新附の民を心服せしめることは難かしい、いままでの在日留學生が歸國するとよく排日家になつたのも日本の學問に創意がなかつたからだ、日本精神と科學とが遊離してゐるからだ、私がメートル法と在來の尺貫法の併用を主張するのも單なる便宜といふ表面的なものに拘泥つてゐるのではなく、日本精神な偏狹なる排他的なものであつてはならないといふことからだ、『彼を知り己を知るものは百戰殆ふからず』といふ言葉はいまも立派に活きてゐる、ことに現今のやうに外國の進歩の尺度がはつきりしない時一層の努力を致して科學の飛躍的進歩が必要である

學年の短縮も 時局の要請で已むを得ないところであるから師弟一致頑張り非常に不利な條件を克服して日本の學問を確立して頂きたい、學徒の鍛錬はいままでのゆきかたで大體結構だと思ふ、競技はある程度體位向上に役立つが從來のやうな選手や體育ファンを作るだけでは駄目だ、身體の體位向上が必要である、なかには學業の過重をいふ人もあるが、私は學業の過重はあり得ぬと思ふ、それを裏づける精神と肉體の三者は一體にして錬磨してゆかねばならぬと思ふ

翼政、改組具體案
十日前後には決定か

【東京電話】各方面の注目を惹いてゐる翼政會の改組問題は東條内閣の改造によつて國内の各分野を通じて熾烈に要望されてゐた政府との緊密關係が飛躍的に前進强化され現在の情勢下まづ完璧に近い表裏一體の即應態勢を具現、これに依つて翼政會の先決的懸案が一擧に解決されるに至り改組の機運も一層促進され、その方向ならびに人事刷新の焦點も明確となつて來た感があるが特に熾烈に改組、刷新を要望する衆議院分野においてはすでに翼中島派、三十日會、翼民政櫻田會、翼壯議員團その他が、それぞれの會合により建設意見を取纏めこれを阿部總務に進言した

また貴族院分野においても各會派の連絡委員の會合が再三開催され貴族院の意向として總裁に申達された、かくて貴衆兩院の意向は阿部總裁の胸中に收められ一切の決定はあげて總裁の方寸と裁量の如何にかゝることゝなつたが總裁としてはこの間絶えず前田、山崎、大麻、横山、運務、橋本など首腦部と懇談、打合せを遂げ東條首相、星野書記官長ら政府首腦部との間にも大體方針についての打合せを了してゐるので今週中は專ら各方面より進言、意見を檢討腹案を練りこれを調整し十日ごろには總斷を下しまづ常任總務、總務政務調査會 正副會長、顧問ら新首腦役員を指名するとともに今後の運營方針、刷新の方途について も總裁としての所信を明かにした上、廿日ごろには議員總會を開くことゝなつた

東亞建設に邁進
國府公使范漢生氏談

【釜山電話】中華民國神戸駐劄總領事から國民政府外交部公使に轉じた范漢生氏は家族同伴歸國の途一日釜山を通過したが鐵道ホテルで次の如く語つた

神戸駐劄一年半その間公私共に親身に勝るお世話を戴き日本を去るに際し新な感謝の念禁じ能はざるものがある、神戸には現在五千餘の華僑がゐるがこれらも友邦日本の恩惠に感服してゐる、今回國民政府の命令で外交部公使として働くことになつたが、汪主席は國民黨當時の同志であるばかりでなく、外交部の直接長官でもあつたから今後主席の同甘共苦の精神に即應すると共に、なほ一歩進んで同生共死の精神で邁進し、重光外務大臣の御方針に基き一層日華親善を圖り、東亞の共同の敵米英を[illegible]

隨想録

いつも云ふことであるが〝欲しがりません勝つまでは〟の合言葉は、ある個人にのみ通用するものではない▲新らしく生れた大日本婦人會などでも服裝が必要だといふ聲があつたが物質不足の折柄、集團美などを問題にするのは贅澤とあつて、とりやめになつた模樣である▲モンペなども、派手なものより地味なのがいゝし、絹物よりも木綿がいゝ。殊に、ある方面の婦人達が、大島つむぎとか、お召とかのモンペで百貨店を練り歩くのを見ると、モンペその物の効果をさへ疑ふ▲しかし、さう云ふ贅澤らしいものを勘定に入れても、今日ではモンペを揃へるといひ出したら、購組、羅罍、女學校のいづれであつても贅澤すぎる考へ方だと非難されていゝ▲殊に女學生の場合、華やかな色彩のモンペ、または沓下であつては困る。だから、黑色一點張りで行くのは〝理想〟であるが、いかなる場合にも理想は〝現實〟ではあり得ない。即ち、もし黑以外の沓下を禁じたらおそるべき贅澤である▲黑い沓下を揃へると云へる。だがそれは物を選擇することの許される場合に於てのみ云へることであつて、今日ではさう云ふものを探すこと、手に入れようと努力することは、無理をすることに外ならぬ▲では、ほかの色の物を買つて、染める手數だけを持つたらといふが、その染粉を買ふことは困難であるし、買はうと努力することにも無理が生じる。みな、よく注意せねばならない。

本社寄託獻金
=五月一日扱=

國防獻金

【陸軍】▲二百圓京城府蓬池町二七〇三木承稷▲十三圓八十錢京城府松町一二五正木きん
【海軍】▲十二圓六十五錢昭和工科學校土木科夜間部金村學進▲十圓京畿道水原細柳國民學校六年旅行生一同

恤兵金

【陸軍】▲十圓京城府阿峴町五三一番地[illegible]
【累計】國防獻金八十八萬九千七百二十九圓六十三錢、恤兵金二十三萬五千二十九圓二十二錢
總合計 百十二萬四千七百五十八圓八十五錢

鴨江戰の英靈も感泣せん

皇帝陛下奉迎　日滿三氏、感激を謹話

【安東二日同盟】畏くも滿洲國皇帝陛下には大東亞戰爭下政務御多端の御うち安東地方巡狩あらせらるる御趣の聖報に接するや、南滿の野は溢る風に咲ふ花も限りなき歡喜と感激に滿ちあふれ、陽春五月の光のもと、若葉の輝きも一入鮮かである、建國こゝに十二歳帝恩國土にあまねく晴れて鑾輿を迎へ奉る佳き日を前に、恐懼と感激に打ちふるへる二百四十萬安東省民を代表して本社では三十六年草分け組の大津峻、日の丸交通會社社長金山東昊、安東金融界の重鎮范先和の三氏にそれぞれ謹話を聞いた

大津峻氏　昨年建國十周年曠古の祭典を擧げさせられた皇帝陛下が、畏くも鑾輿を東邊に進めさせ給ふと拜承してたゞ恐懼感激してゐる次第である、かくの如く尊き御身を以て東邊の民草に示させ給ふ有難き帝旨の程はひとり安東市民或は省民の感激であるばかりでなく、滿洲建國の聖業が遠く三十九年前に淵源する日露の戰ひ、しかもその緒戰の大戰果である鴨綠江の戰闘に華と散られた勇士の靈忠が今ぞ晴れて報いられたと言ふべきで、御臨の榮光に英靈もさぞかし地下で感泣されてゐられることゝ思ひます、この鎭山蕊水朔のこの卑地に今回晴れて皇帝陛下をお迎へ申すといふことも何かしらひたひたと胸が迫る感激にうたれずにはゐられません

金山東昊氏　卑郷をこの安東にお迎へすることの出來る無上の光榮に半島人市民は只々恐懼感激してゐる次第です、帝威あまねく、躍進するこの東邊の地は曾つての匪賊跳梁の面影は何處へやら、今は鴨綠江水系の發電化と大東亞の連絡基地として建設中の大東港は愈々完成の日も近く市民舉つて樂土を讃へ、いやます帝德の有難さを只管景仰し來つたのでありますが、愈々その御英姿を眼の邊りに拜し得るかと思ふと感激の言葉もありません

范先和氏　帝德彌高き滿洲國に安居樂業してからはかつての匪亂常なりし塗炭の苦業から立派に解放され、隆々躍進する國運と共に洽き王道の慈光に浴し來つたのでありますが、私達滿人市民が豫て念願と致しましたことはこの敬慕讃仰し奉る皇帝陛下をこの安東に御迎へ申上げたいと言ふことでありました、この市民舉つての熱き赤誠が天に通じたものか、政務御多端の折にも拘らせられず、今回は特に安東地方に巡狩せられますと拜承して、只々帝恩の有難さに感泣するものであります

奉迎準備、全く成る　瑞色の安東市

【安東二日同盟】鑾輿を迎へまつる江都安東は鎭江山の綠も一入鮮かに、鴨江の流れも春光に映え、二百四十萬省民の歡喜と感激のうちにいまや奉迎準備も全く成り御着を御迎へ申上げるばかりとなつた大滿洲國の東南の玄關口安東驛前に建てられた大奉迎門も光榮の裝ひをこらせば、鎭江櫻も既に滿開近く全市をあげて歡迎の奉迎風景を繰展げてゐる、御沿道は塵一つなきまでに掃き清められ、道行く老幼男女の顏も明るく、街々は高き帝德を讃へまつる市民の彌榮びの聲に滿ちあふれ、口ずさむ奉迎歌とともに全市一杯の奉迎氣分をふりまいてゐる

果さん社頭の誓

燃上る決意・銃後奉公

【のぞみ車中にて大山、鈴木兩特派員發】皇國の御楯として散華今は護國の神として靖國の杜の奧深く鎭まるわが子、わが夫、わが兄弟に畏き光榮の社頭對面を了へた朝鮮遺族部隊九十餘名は半月間に亘る旅行に少しの疲れも見せず、まだ醒めやらぬ宏大無邊の皇恩に對する感謝感激の念を滿面に漲らして元氣一杯、無上の『お互にしつかりと銃後を戰ひ拔きませう』と誓ひ合つてお別れをし七十餘名を乘せた急行〝のぞみ〟列車は薫風そよぐ綠の野山をよぎり家路さして驀進する、社頭對面の感激まだ醒めやらずお羽車のぎしみを胸にしつかと抱き今はわが子にしてわが子に非ず、靖國の神として御國を護る者の遺族達は一つに融け合つて車中に相寄り……

我が家へ、遺族列車走る

『神鎭まりしわが子、わが夫の御後慕ひて銃後守らん』の決意今こゝに炎と燃える

故陸軍兵長　永田稔一氏　母堂　タケさん　從妹　熊谷初子さん（京城府漢江通一丁目）

此光榮と感激を戰力増强の銃後報國に打込む決意も固く山口、具田兩本隊長に引率されて二日釜山着、歐南部隊へ……

たゞ一人の息子が昭和十五年北支山西省の山嶽戰に戰死したので、身寄りは一人もゐないといふタケさんは健氣にも……子供に負けないやう銃後奉公にいそしみますと力强く語つた

故陸軍伍長　小林武雄氏　嚴父　又次郎氏　母堂　タカさん（京城府新設町）

人間誰しも一度は死ぬがよき死場所を得ることは難しいと思ひます、武雄はそれを得てさぞ滿足したことと思ひます、東京に於ける規律……

故陸軍兵長　小田武雄氏　令兄　三次氏（京城府孝子町）

全國の遺族が東京へ降り立つた日から出發際まで軍部、婦人會等の至れり盡せりの御世話、道を行きずる小學生、女學生はわれく遺族に對し一々敬禮をさせ電車バスの車掌さんに至るまで親切に優しくして下さいました、招魂日の夜の十二時半になつたのに宿舍の前には婦人會の方がお待ちになつて御世話下さつたのには淚が溢れてお禮の言葉も出ない位でした

故陸軍伍長　松村臣善氏　令弟　之治氏　令妹　モトコさん（京城府永登浦町）

このたび靖國神社に兄が合祀私達二人は光榮の日、かがり火燃える社頭に靜かに頭を垂れ、兄の御魂を迎へました、ほのかに白い御羽車が靜かに通りかかり火が消える……

故陸軍軍曹　圓中隆三氏　母堂　むめさん　令兄　靜氏（京城府旭町二丁目）

山西省の戰ひに機關銃手として參加し壯烈な戰死を遂げたのでした、私は弟と一緒に入營し軍曹として中支に征き昨年歸還しました、現地で戰死を聞いた時私は心の中で僕も必ずやるぞと誓ひましたが僅な働きも出來ず歸還し今度靖國神社まで行かして戴き勿體ないです

故陸軍伍長　山下武治氏　母堂　イトさん　令兄　龍治氏（京城府南米倉町一丁目）

金鵄勳章を賜つた上に靖國へ神と祀られ一家一門の譽として故人の遺志を辱かしめぬやう銃後奉公に挺身します、軍部の方や殊に婦人會の方の肉親にまさる御世話には、如何やうな御禮を申上げてよいかわかりませんでした

故陸軍中尉　兒山三郎氏　母堂　たつさん　令兄　正爲氏（京城府本町）

畏くも天皇、皇后兩陛下を眼の邊りに拜し奉り恐懼感激致しました、御殿參拜をさしていただき、よい子供を持つたことを誇るとともに神と祀られた三郎の名を汚さぬやう銃後奉公に邁進する決意を新たにしました

豐田委員長協力感謝

【東京電話】靖國神社臨時大祭は去月廿八日から六日間いと嚴かな祭事を滯りなく終り、上京遺族四萬餘は大祭の感激に咽び、それぞれ歸郷したが、大祭委員長豐田副武大將は二日大祭終了の謹話を發表し、關係各方面の協力と厚情に感謝した

長旅お疲れ様　二週間ぶり元氣で京城驛着

東京九段の靖國神社で感激の對面を終りその思ひ出を胸にしつかり持つた朝鮮遺族部隊、京城府新設町三八〇小林伍長父小林又二郎氏ほか五名は元氣一杯で二日午後六時十分着〝のぞみ〟で京城に歸着した、驛頭には本府渡邊課、軍人援護會吉澤書記はじめ留守の家族たち關係者多數が出迎へて〝長途の旅路でお疲れでせう〟と勞ひの挨拶〝何もかも銃後皆さまのおかげさまで〟と積る話をした上で二週間ぶりのわが家へ急いだ【寫眞＝京城驛着の遺族】

雲井校奉安殿竣工

【新義州】中樞院參議古山簡鉦氏の寄附により昨年五月來着工中だつた府内公立雲井國民學校奉安殿御造營はこの程漸く竣工したので近く竣工式を擧行するが、その總工費は一萬圓餘である

一部の缺點咎むな

『推薦』の生命は事の簡明處理

明朗推薦選擧の前には、既に自由立候補者の影はなく、このところ京城府の候補者屆出受付事務所も四月廿二日早朝推薦候補者五十六名の一齊屆出があつたのみでその後は全く開店休業といふ寂寥風景を描いてゐる、府當局は流石に京城人の推薦制に對する正しい認識が日と共に深まりつゝある輪もしい銃後風景を前にし廿一日の總選擧に對する諸般の準備を進めつゝあるが、それにも增して推薦母體たる府議推薦委員會では生みの親としての立場から終始その推移を注視しつゝあつたが、一日京城商工會議所會頭穗積眞六郎氏は委員として次のやうに推薦制の意義を述べ、戰時下、推薦制こそ眞に國民全體の守るべき選擧道義であると强調した

穗積會頭談　今日の時局が、未だ曾て經驗しなかつた重大時であることは今更申すまでもないことであるが、この決戰態勢下において、物事を處理して行くには、一億の國民が一致協力して互ひに爭ふことなく簡明に物事を處理して行くことが最も必要であると思ふ、總督府が今回の府會議員選擧にあたり推薦制を慫慂されたのもこの趣旨からであると信ずる、簡單明瞭に物事を處理して行くといつてもこれを徹底するまでには勿論充分なる熟慮を必要とする、故に議員候補の推薦に於いては各委員は運日協議を重ねて充分檢討を盡して後、議員候補を推薦したのである、然し或は一般府民から顧てその各々の立場々々から批判されたならば必ずしも完璧を期し得たとは考へられないむきもあるかも知れぬが、然しこゝによく考へて頂きたいことは一部の不完全を理由として一人でも自由立候補の名乘り出をした場合には、その結果として自由候補の亂立を誘發し、推薦の意義を全く減却するのみならず、選擧の結果は意外なる結果を來し當初から推薦制を採用しなかつた場合に較べてなほ一層混亂したる非決戰態勢的な結末を見るに至る憂ひが決して起らぬとは斷言出來ぬ、府民の皆樣もよくこの大局を達觀して小さな缺點のために時局下に於ける選擧の方針を混亂させないやうに確つて推薦選擧制に贊成して道義朝鮮の確立に協力を願ひたいと念ずる次第である

靖國に參拜

入京二日目の學童團

【東京電話】入京第二日を迎へたわが學童代表聖地參拜團一行は二日午前八時卅分宿舍たる神田の富士館を出發、護國の英靈鎭まる靖國神社に向ひ廢んの櫻散りしく大前にひれふして皇國臣民としての覺悟を固むると共に媛いながらも大東亞戰に挺身する誓ひを新たにし更に一行は十一時東京にある諸先輩の笑顏に迎へられて朝鮮獎學會に至り國民儀禮の後、同會理事長川岸中將から『こゝは皆さんの兄さん分の人で、東京に來てゐる學生を御世話してゐるところです』と簡潔して……

して來ましたね、あのお社には前線において奮戰力鬪、勿體なくも天皇陛下の萬歲を唱へて……

初夏の高原に剪毛奉仕

鋏も冴える第一高女生の眞心

兵隊さんの爲に

【江原道梨木牧羊場にて香川特派員發】綿羊の剪毛期に入つて鮮内で有數の江原道平康郡縣內面梨木牧羊場では、いま六百頭の綿羊が冬期を寒さ知らずに送つた豐かに羊毛を刈込んでもらつてゐる、重要物資たる綿羊の剪毛作業に勤勞奉仕を思ひ立つた京城第一高女では梶原校長以下職員引率の同校四、五年生徒百廿名が一日夜京城發二日午前三時半江原道梨木里の東拓牧羊場に到着、海拔五百五十米の初夏の高原に朝風を截つて上り同六時から松尾場長の指導で剪りはじめる『めエ、めエ……』と繋び寄る數百頭の綿羊は次々と處理場に導かれ優しい乙女等の手でチョキン、チョキン…と鋏を入れられるのだ、至つて難かしい剪毛技術も『兵隊さんの爲に』といふ乙女の眞心が凝つてか鮮かに捗どれば松尾場長も大喜び剪られた羊毛は大切に某方面へ送られる、午後は爪切りや羊尾等の實際を見學、仔羊の解剖に科學する心を養ひ健民運動期間中に異彩を放つ行事を終へ午後五時半京城驛着で歸城した【寫眞＝第一高女生徒の綿羊剪毛奉仕】

兒童愛護座談會　本社後援（下）

母よ子に嚴しかれ

人みしり、物おぢはよくない

岩佐氏　總督府では今年の一月から育兒暦を配布してゐます、姙娠の心得や出産と月別育兒法、疾病の早期手當等初めての母親でも分るやうに詳細を極めてゐます

須江女史　毎週火曜丁子屋で開かれます總旗聯盟主催の乳幼兒相談所は回を重ねる毎に盛會です、十二月までに總計五百五十四名の子供の診察に應じました、相談件數は三〇六件、母乳について一一〇件、人口榮養について一八件、離乳期について一七七件でした、この乳兒暦を配布するほか資材難の折柄離乳期の食物の作り方、玩具の利用法、肥料の作り方等種々研究してゐます

大塚氏　昨年は週間中『母と子の展覽會』を開いて滿員でしたが今年も育英會で內容を變へて開催致します、今年は育兒講演會を新に開き七日には府民館で城大辣先生の講演會と映畫の夕が催されます

矢島女史　冬季をどう過すか精神教育をどうするかといふ問題かといふことも相當大きな問題ですし燃料の關係から溫突部屋とストーブとどちらが良いかなど會員間で統計をとつてゐます、積極的には乳兒體操なども良く母親が助けてやらせることもよいと思ひます

天野博士　それでは子供の問題に入つて戴きたいと思ひます

嶺社會部長　今日では乳幼兒の問題は唯單に人類的な立場からでなく國家に通ずるもの卽ち國家的立場からすべてが考へられなくてはなりません、六歳位までの子供でも甘えたり我が儘だつたり、人見しりしたり、沈鬱な子だつたりではならない、國家が要求する子供は飽くまで明るく伸び伸びとした强い子でなければなりません、小さい子供で美しい動作、惡らしい心持の子供といふものが存在すると思ひます、さうでない子供は結局母親が惡い、周圍の環境がさうさせたと云へると思ひます、例へば障子を破る子など母親がだらしないことに原因します、人みしりする子なども健全ではありませんね

天野博士　只今の話のやうに母親の態度これは確に重要ですね、國家の子供ですから錬成も必要です

須江女史　母親は朝から晩までの家事一切を忠實に盡すことが卽ち大君に捧げまつることです、大君の邊にひれふす心が日本的躾だと思ひます

天野博士　人みしりしたり物おぢする樣な子供は將來共榮圈の指導者として物の役に立たない、子供の躾方には何とか要領があると思ふんですが友の會ではどんな風に……

矢島女史　友の會幼兒生活團ではよく叱らな過ぎるといはれるんですが私共では子供に氣が附いて貰ひたいのが主義です

天野博士　子供の教育に當つて個人主義的、自由主義的な從來の態度を一擲して全體的なるもの國家的なものに是正されなければならないと思ひますが、この點半島の方の御意見はどんなものでせうか

金女史　地方からの婦人見學團なんかの話を聞いてみましても徴兵令施行發表以來半島の根本觀念もすつかり變つて自分達も立派な皇軍兵士になるといふ目的意識を發見……

天野博士　それから玩具の問題がありますね、少い關係から隨分粗惡なものを受けるやうです、どんな……

弘中博士　先づ……うなもの、塗料の粗惡な……險です、教育的である……げられます

話題特急

……大東亞……ち拔く……んとする……尙武の五月……に來ると共に……

一日から全鮮一齊に展開……日の〝健民精神…… で第二日の二日は〝消……よる會議の週し……

……ちようどの日は……なので街の店、工場は休日……ろが多かつたが、休日……にかへて鉢卷姿も雄々……から街といふ街の店に……ら網點になつて行く

……一方、一般家庭で……家を清潔にしよう〟と……日曜で休む役人、會社……徒、兒童たちも交へて……員となり清掃作業を……

……これに愛國班は……

上田氏一行　新義州で講演

【新義州】南方に活躍した陸軍報道班員上田廣、元報道班員井上康文の兩氏は國民總力聯盟吉田總務部長案內の下に水豐發電所……察を了へて來る八日午後三……新、同日午後七時から公會……力聯盟での他地元關係方面……報告講演會を開く……演題上田氏〝パターン作……る〟外未定

……御國のため散華された人……祀りしてあるのです、あ……大祭にも四柱祀られまし……は半島出身の人々が今度……等の人々も亦内地の人々……ずみな御國に殉せたこと……びに滿ちくて散られた……つまり日本人は皆御國に……いふことを念じて戴いて……です、來年からは愈々徴……半島にも實施されますが……も行くくはこれ等の先……を繼ぐ人々です、しつか……て下さい

……との激勵をこめた挨拶を受……鰹の御馳走になり先輩の……師文科二年東明江さん、同……科四年津本恵子さん、武藏……學校藥學科三年松永喜子さ……央大學法科一年完山東助君……專門部政經科三年岡本鉄守……ら激勵やら東京の話題を……れた、それより同一時卅分……宮に參拜して忠誠を誓ひ奉……を見物の後、松竹の好意に……舞伎座の舞台稽古及び場內……裏等を見學して第二日目を……

月曜特輯

明日の農村を 擔ふ若き人々

大地と共に增產へ 還し日曜なしの鍊成

忠南儒城農民道場

大東亞戰爭を勝ち拔くためには凡ゆる生產部門の增產が要請され、今や半島は擧げて戰力增强に向つて敢鬪を續けてゐるが、特に『兵站半島』と呼稱されてゐる我が朝鮮は食糧增產によつて與へられた義務を果さなければならぬ立場に置かれてゐる、而して食糧增產の要諦は從來の作付反別の增加だけに止まらず、小磯總督は機會ある每に半島農民の皇道農民化を强調し、精神的訓練の必要を說いてゐる、そのためには各道とも農村部落の中心人物たるべき靑年層の鍊成に心がけ、夫々の農民道場で日夜絕え間なき鍊成を行つてゐる、若き農民は如何に鍛へられつゝあるか、明日の半島農村を背負つて立つ農村中堅靑年はどうして作り出されるか、本紙は農民道場として最古の存在であり他道の範となつてゐる忠南儒城農民道場を訪れて、こゝにペンとカメラによつて『鍛へられる農民』の實態を報告する【木村特派員記】

道場の組織

朝鮮に農民道場が創設されたのは古いことでなく、宇垣總督時代、農村振興政策を具現する一方策として各農村部落に中堅靑年の自作農を作るために出來たもので、昭和九年六月設立した儒城農民道場をもつて嚆矢とする、その後この施設が農民鍊成のため、特に部落中堅靑年を作り出す上に非常に役立つことが各道に認められ、現在農民道場をもたぬ道はない、初めは自力更生による自作農設定を目標としてゐたが、戰爭後は、大東亞戰下の共榮圈内の食糧確保といふ大使命の下に、單なる耕地面積の擴大、肥料の合理的使用に局限せず、皇國農民道の實踐が强く要請され、精神的訓練によつて遲れた半島營農を内地と同樣『土を愛し、土と共に生き土と共に死す』の訓練を行つてゐる、このため全鮮の模範である儒城農民道場では今年から從來の收容人員六十名を百名に增員して、

【寫眞＝忠南儒城農民道場の全景】

半島農民の皇民化に拍車をかけることになつた

この道場は大田から十二キロの儒城溫泉から更に步行卅分の地點にあり、一方を松林、三方は道場耕地に圍まれ、遙か彼方には内地人經營の果樹園などが望見出來る惠まれた環境をもつてゐる、現在こゝに入所して訓練を受けてゐる道場生は大德、燕岐、公州、論山、牙山、天安の六郡から選拔された六十名で、これ等が各獨立した農舍で五名づつ起居を共にして、日曜日なしの訓練を受けてゐる

その農舍にはそれぞれ更生、振興、自力、奉仕、共同、勤儉、質實、農聖、篤農、精農、勞農、勤農、堅農等々の舍名がつけられてゐて、一舍五名のうち、舍長、農業能力などの優れた者を家長とし、殘る四名の舍生の統率をしてゐる、十二農舍は東西に六戶づつ建てゝあり、五名の者が同室に起居し、全く獨立した農家を形成してゐる、豚舍あり、雞舍あり、堆肥小屋あり、牛小屋あり……狹い乍らも半島農家の最も理想的な施設が具備されてをり、十二の農舍は同一規格で、現在は一舍五名づつを收容してゐるが、近く更に四十名を收容するとになつてをり、さうなると一舍七名となり、ほかに二舍增築の豫定になつてゐるが、道場所有耕地は畓四町一畝六步、田五町四反六畝、垈九反八畝五步、林野六町八反六步、家畜は牛十二頭、豚六十羽、緬羊十八頭、兎十二羽で、味噌、醬油以外のものは一切自給自足し、なほその上蔬菜だけでも年收四千八百圓をあげてゐるから他の一般農家に比し高度の集約營農を行つてゐるとになり、人員が四十名殖えても耕地は從前通りであるため今後は一層集約營農……

叩き直す"他力本願"

道場の生活

此處の道場生たちの生活は海軍と同じやうに月月火水木金金を實行し、總て規律をもつて一日の課程を、來る日も來る日も繰らず繰返してゐる、朝は先づ午前五時起床、五時卅五分までの間に農舍附近の清掃、舍内の整頓、洗面を終つて、松林内にある大麻奉祀殿前に集合して朝禮を行ふ、朝禮は人員點呼ののち奉祀殿に向つて恭しく二拍手、二禮、一拍手の拜禮をし、宮城、伊勢神宮遙拜ののち道場長又は輔導員の訓話があつて國民體操をする、それから七時までが第一就業時間で、堆肥、除草、藁細工、農耕、家畜管理などをやらせ、場合によつては講堂に集めて講義をすることもある、七時から八時までが朝食時間であるが、食物に對する感謝の念を植ゑつけるために三度々々、食前、食後の誓ひをさせる、朝食ならば味噌汁と澤庵漬、山盛りの飯を前にして、合掌の姿勢をとり拇指と人差指の間に箸をはさんで

この食物が食膳に上るまでには幾多の人々の勞力と神佛の加護あることを思ひ、深く感謝致します、この食物を頂くことを過分に思ひ、不味いからとて厭ふことなく、美味いからとて貪る心を起しません、頂きます

と食前の誓ひをしてから箸を取り……

朝食を終りて身(心)力、いでやこれより、祖國勞力せん、と感謝の言葉を擧げ……じやうな誓ひをする、夕食の誓ひは

夕食を終りて身力……でやこれより今日し明日に備へん

と唱和する、その……ら十二月の修了期……字二千を目標に食後……を敎へて一日六字を……とにしてゐる、道場……學校出身者であるが……語を完全に書き現は……ないさうで、部落へ……事務所などから廻つ……

……手紙の代讀位は出來るやうにとの親心から出た訓育である

朝食と漢字習得が終つてから午後零時五十分までが第二就業時間で、午後二時から日沒七時までの第三就業の時間とゝもに、道場生に對する皇國農民としての徹底した『鍛へる時間』なのである、この日課のうちには、今まで自家にゐて、仕方なしに父兄の命令でやつてゐた農耕に對し再認識を求める時間なのである、暦に從つて季節々々の種を蒔き、芽生えたならば申しわけの肥料をやり、雨が降らなければ『どうにもなら無』と諦めて、旱害ならば お上のお助けがあるだらうといつた他力本願式の營農法を叩き直す時間なのである、雨が降らなければ井戶を掘れ、虫がついたらとれ、肥料が足りなければ堆肥をうんと作れと敎へ込むのである、事實この附近の農民は反當百貫、よくて二百貫しか堆肥をやらぬのに、この道場では反當り二千貫の堆肥をやることを絕對の條件として實行してゐる、はげしい日中の農業實習が終ると、課外として隨時に講義や日記々帳、座談會が開かれ九時夜點、人員點呼、夜の挨拶、家鄕に向つての挨拶があつて、九時半、鐘の音と共に十二の農舍は一齊に消燈就寢するのである

辯口よりも實力 信賞必罰、總て軍隊式

膽議よりも理想、風諸よりも信念、辯口よりも實力

道場の訓練

道場生は十七歲から廿五歲までの靑年から選び、二月の入所から四月の農繁期までは專ら集團生活に馴れるための訓育を行ふが、本年度の場生は僅か二ケ月の間にすつかり軍隊式の訓練を會得し、講堂の軒下にある鐘の音一つで何時でも直ちに集合し『××農舍五名異狀なし』と報告して全員六十名が瞬時に整列する

入所した當初は千差萬別で困つた、貧農の子は勞働には馴れてゐるが、躾指が粗暴で、甚しいのは便所の使ひ方も知らない、自作農の息子は身體が脆弱で役に立たず、これ等を同等に訓練するには軍隊式にやるのが第一である、次には輔導員が道場生の中に溶け込んで、彼等と共に在ることが大切である、陣頭指揮といふことはこの道場では、ずつと以前から實行してゐることで、我々職員は生徒より先に起きて起床の鐘を鳴らし、飯も一緒に同じものを喰べるやうにしてゐる、それと信賞必罰を嚴重にして良いことは大いに褒め惡いことはびしびしを叱つてゐるが、二ケ月もすれば軍隊の第一期檢閱と同樣、どうにか一人前の道場生になる

と語はれる我農生山崎延吉翁の扁額がかゝつてゐる

と響いた言葉は生徒の頭に深く刻みこまれて行くやう、二宮翁道歌と共に輔導員が先唱し合唱して精神修養に努めてゐる

食堂兼講堂は粗末な粗末なものであるが、周圍にずらりと第一期から第九期までの修了生の名札がかけてあり、正面には半島農民の父

道場の特徵 活眼を開く

『活眼を開け、眼はただ上つ面のものを見るだけにあるんではない、此處の麥と隣の麥の伸び具合が異つてゐるが、その原因は何處にあるかをよく見ろ、活眼とは見てよく考へることだぞ』と麥の管理の時、播種のとき、凡ゆる作業實習の際に『物の觀方』といふ點に注意を向けさせる、種を蒔いて稔つたからとて作つたことにはならぬ、それは『出來た』のだ、一生懸命土を可愛がつて一本の雜草も畓田になく作物が氣持よく稔つた時に初めて『作つた』といふことが出來るんだぞ――

と、この道場の作物に對する考へ方は、半島農民が陷りがちな掠奪農業から脫却して土とともに呼吸するといふ觀念を植ゑつけるのを眼目としてゐる、また道場生の創意工夫を活かすためには、十二の農舍に附隨する畜舍、堆肥小屋、堀などの築造は生徒の勝手な創意の下にやらせてゐる、各農舍とも家長を中心に思ひ思ひの牛小屋を作り、雞舍の作り方も全部區々である所に、この道場の特徵が現はれてゐる

十八年度の生產額の豫想は一萬四千四百三十四圓となつてをり蔬菜類などは昨年まで一町二反步を栽培してゐたのを今年は半分の六反步に減らして、なほ且收入は昨年と同じ四千八百圓を擧げるやうに指導してゐる、減反して收入を減らさぬためには投げやりの耕作では駄目だといふので、職員の指導で促成栽培を行ひ技術によつては收入が殖えることを敎へてゐる、現に耕地の一部に紙溫室を作つて胡瓜茄子の早期栽培をやり、既に胡瓜などは四月十日に一部を出荷してゐる

農民道場の一日

寫眞說明(1)大麻奉祀殿前の朝禮(2)食前の誓(3)肥料の運搬(4)畜牛の當番(5)ペーパーハウスで速成栽培の胡瓜(6)麥畑の畦作に棉の播種＝忠南儒城農民道場にて【原田特派員撮影】

大いなる祭

【130】 中野實(作) 三芳悌吉(繪)

新しき任務(四)

躊躇はしてゐたものゝ、思ひのほか、はやくアルメイダが本性を暴露したので、英子は、さすがに身の毛のよだつのを覺えたが、これもアルメイダが自分を信賴しての上と考へれば、案外に手つ取り早く目的を果すことが出來るかも知れないと、彼女は思つた。

『冗談、冗談。はつはつは』

身體をかたくしてゐる英子に、アルメイダは、とつてつけたやうな笑ひを浴びせて、

『さ、こちらへいらつしやい』

と、また猫撫聲で促した。彼女は無言のまゝ彼のあとにつゞいた。祭壇のうしろの扉をあけ、廊下づたひにすこし行くと、アルメイダは立停つて、默つて右手の部屋を指した。

彼女は目禮を送ると、逃れるやうに部屋へ飛び込んで、うしろ手で扉をしめた。見ると片隅に寢台がたつた一つおいてあるきりで、飾りものと云つたらもつともらしく聖母マリヤのレリーフが壁にかけてあるだけだつた。

井關の見込としでは、どうやらこの敎會が通信本部らしいといふことだつた。彼女は、寢たふりをして、夜中まで時間をまつことにした。その間もじつと聽耳をたてゝゐたが、コトリともしない。

もう夜光時計が二時をさしてゐる。アルメイダは自分の家へ引揚げてしまつたらしく、ひよつとしたら、アルメイダかと懸念したことも取越苦勞だつたらしい。彼女は、ほつとした。するりとベッドを拔け出すと、彼女は靴もはかず、そつと扉の把手をひねつてみた。と、意外、鍵が下りてゐる。

彼女は、はつとした。見破られたのではないか。危惧の念がさうと胸におほひかぶさつた。が、あわてゝはならない。冷靜、沈着、果斷と井關の言葉が思ひ出された。

彼女は心を落ちつけて、また、ベッドに戾つた。

(今日一日を早まつたばかりに後悔するやうなことがあつてはならない。鍵が下りてゐるからと云つて、慌てることはない)

彼女は自問自答した。(さうだわ、きつと)

彼女は自信を得たやうに獨りつぶやいた。が、そのとたんだつた、彼女は、異樣な物音に、鋭でさゝれたやうに、ぴくつと全身を緊張させた。

それは、何か、地から湧き起つてくるやうな、祈りの聲であつた。はつとして、耳をすますと、もう、その呪はれたやうな聲は忽然と消えて、またあたりは、しんと靜まりかへつてゐた。

(幻聽だつたのかしら)

彼女は闇の中にじつと身をすくめた。とまた、今度は、さつきよりも一層、耳もと近く、呪文めいた祈りの聲が……

(床の下だ)

彼女は、飛びすさつて寢臺の上に、耳をあてた。

と、また、ぱたりと、その歌聲は止んで部屋一つ聽こえるほど、無氣味な靜かさに戾つた。

ラヂオ 3日

朝 六・二〇『日本人の開拓力』野間海造▲九・〇〇(城)一坪菜園案内『蔬菜の二毛作、三毛作の話』高橋光道▲一〇・〇〇ウタノオケイコ『コヒノボリ』奥田智重子ほか▲一一・〇〇『キンタラウ』白石宏

晝 〇・三〇合唱とピアノ▲一・〇〇朗讀『光に起つ子ら』

夜 六・〇〇『林子平』鈴木重則ほか▲六・三〇(城)對談『結核豫防に就いて』吉岡貞總ほか▲七・三〇『貧乏ゆゑに強い日本』川島四郎▲七・五〇(ベルリンより)ドイツ通信▲八・〇〇 1放送劇『林道』杉村春子ほか、2(城)農家の時間『棉の播種について』工藤壯六

登記公告

[illegible]

推薦

來る五月二十一日を期し京城府會議員第四回總選擧を執行せらるゝに當り當推薦會は朝鮮總督府の方針を體し愼重銓衡の結果左記五十六君は何れも高邁なる識見と豐富なる經驗とを有し決戰下に於ける京城府會議員として最適任の人材と認め御推薦申上ぐる次第に有之候に付ては愛府に燃ゆる全有權者各位は何卒叙上の趣旨を諒とせられ本會推薦候補者の爲めに貴重なる一票を投ぜられんことを奉懇願候

京城府會議員候補者推薦會
京城府民館内
電話本局四一八二番

推薦候補者(イロハ順)

現住所	氏名
鍾路町七九	石原憲一
富井町五五	石川倦造
新堂町三九八ノ一	伊藤奉圭
新堂町三〇四	石森久彌
元町二丁目一六	井原荒太郎
新吉町九五	伊藤壽一
明治町一丁目五四	石橋良祐
上往十里町一〇一	伊東立雄(尹[illegible])
長橋町一三	戸谷正路
觀水町七	德山白洵(崔白洵)
太平通二丁目二八一	李庚鳳
嘉會町一八三	李敏求
明治町二丁目一〇五	小川勝平
明倫町三丁目一一〇	加藤好晴
旭町一丁目一三〇	加納一米
永登浦町五七〇	金井泰準(金泰準)
義州通二丁目八	神岡昌熙([illegible])
元町二丁目一七	伊達四雄
西大門町二丁目三七	太宰明
南大門通五丁目四	高井健次
鷺梁津町一〇〇	高澤藤子
東四軒町三八ノ三六	中村郁一
櫻井町二丁目六〇	南條[illegible]
吉野町二丁目一〇五	柳樂達見
都染町一〇七ノ二	中本弘鍾(李弘鍾)
嘉會町三一ノ二三	夏山茂(曹秉相)
蓬萊町四丁目一四二	上杉直三郎
下往十里町山六ノ六	内田錕五郎
黃金町二丁目七二	梅林卯三郎
東部町二丁目一八	野附勤一郎
新堂町二七八	野田勝弘([illegible])
新堂町一一〇	栗本正隆
元町二丁目七ノ一〇	草内興洙([illegible])
大和町一丁目三九	山中大吉
鍾路四丁目一二八	山崎廣吉
花園町一二八	山口友造
三清町一五	梁川在昶(梁在昶)
道林町九〇	松本斗用(李斗用)
竹添町一丁目九八	藤崎謙祐
大島町一	近藤秋次郎
貫鐵町五六	德山必求(洪必求)
阿峴町二一〇ノ三	江村相鎬(崔相鎬)
[illegible]村町一一七ノ二	三井清次([illegible])
漢江通二丁目九九	阿部喜之助
[illegible]町二四七ノ一	朝野晴義([illegible])
新堂町四三三ノ四	安錠遠
東四軒町一二〇	新井康弘([illegible])
[illegible]町七二ノ四七	新井永敏([illegible])
[illegible]町一三五	木村昌薫([illegible])
孝悌町一〇九	三井疇明([illegible])
[illegible]町一二四	芝村定宰(李定宰)
元町三丁目一	廣網德太郎
清涼里町山一〇	廣山種香([illegible])
[illegible]木町一五一ノ二	森安敏暢
[illegible]町一三八	全富一
[illegible]町二二	鈴木文助